

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
440020	X-32/13-B-3-440020	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
起業論／ベンチャービジネス	藤田 美幸			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	3年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	3年		

授業目的

本講義では、アントレプレナーシップ（＝起業家精神）を醸成します。アントレプレナーシップとは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として活用する」ことです(Drucker, 1993)。アントレプレナーとは会社を起業する人や企業組織の中で新しい組織やビジネスとネタと組織や人を結びつけて、新しいモノを生み出す人のことです。こうした人々は経済発展の原動力になったことが高く評価されており、その機能について考察します。具体的には、アントレプレナーシップという現象がなぜ生じるのか、アントレプレナーシップを生じさせる構造はどうなっているのかについて検討します。また、理論を深めるため、新しいモノを生み出すことを実践します。つまり自身がアントレプレナーになりビジネスプランを企てます。そのため、本講義では、市場機会の発見やアイデア創出、ビジネスプランの具体化の方法論の基礎を学びます。また、必要な知識の伝達に加えて、グループワーク等を組み合わせた学生参加型の体験的な学習を重視します。なお、この科目は「自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力を養う」ための科目のひとつになります。

各回の授業内容

第1回 【授】 イントロダクション-講義のガイダンス 【前・後】 アントレプレナーシップとは何かを事前に調べておく 第2回 【授】 起業をめぐる環境要因 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第3回 【授】 起業家論-アントレプレナーシップ（起業家精神）に関する研究 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第4回 【授】 チームビルディング-アイデア創造- 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第5回 【授】 ビジネスプランについて-ビジネスプランの構成要素- 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第6回 【授】 ビジネスプランについて-マーケティング戦略-1- 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第7回 【授】 ビジネスプランについて-マーケティング戦略-2- 【前・後】 グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第8回 【授】 ビジネスプランの作成1-グループ別- 【前・後】 グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習	第9回 【授】 ビジネスプランの作成2-グループ別- 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第10回 【授】 プレゼンテーションの技術-プレゼン・ソフトでの発表資料作成法 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第11回 【授】 中間発表 【前・後】 グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第12回 【授】 ビジネスプランの作成3-グループ別- 【前・後】 グループ別に分かれビジネスプランの再考、4時間相当の事前事後学習 第13回 【授】 ビジネスプランの作成4-グループ別- 【前・後】 グループ別に分かれビジネスプランの再考、4時間相当の事前事後学習 第14回 【授】 最終発表 【前・後】 グループ別にビジネスプランの討議と作成、前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第15回 【授】 総括-ダイジェストし、重要なポイントについて復習する- 【前・後】 前回までの講義ノートの見直しおよび理論の復習、4時間相当の事前事後学習 第16回 【授】 発表関連資料の提出
--	--

成績評価方法

小テスト・授業内レポート20%、宿題・授業外レポート20%、授業態度・授業への参加30%、成果発表（口頭・実技）30%の配分で評価します。積極性が加味され、単に講義の時間に出てきても、プランの準備をしていない人、グループに貢献していない人、課題に対して貢献しない人は、授業態度・授業への参加の評価を減点します。

教科書・参考書

<参考書>

柴田 英寿『アントレプレナーシップ論講座-みんな、心に、起業家精神!』日刊工業新聞社、2013年
 新藤晴臣、『アントレプレナーの戦略論』、中央経済社、2015年
 松重和美監修、『アントレプレナーシップ教科書』、中央経済社、2016年

受講に当たっての留意事項

- ・アントレプレナーシップは“総合力”です。一つの授業にひとつのトピックを当てはめることが難しいのですが、“授業の内容”にあげるトピックを15回の授業を通じてプロジェクトや議論を通じて理解を深めていきます。
- ・授業では、知識や理論のインプット学習と、グループに分かれビジネスプランを作成・発表するアウトプット学習により理解を深めます。
- ・企業の実データを活用し、ビジネスプランを企てる場合があります。
- ・学外のビジネスプランコンテストに応募する場合があります。
- ・アントレプレナーのゲストスピーカーをお招きする場合があります。
- * その場合の注意事項についてです。遅刻厳禁かつ私語厳禁。社会人としてマナーに反しますので5分遅刻の場合は入室はできません。また途中退出も認めません。またゲストスピーカーのスケジュールの都合により授業内容の順番が前後します。
- ・チームでプレゼン内容を準備するため、授業時間外で発表資料作成に取り組む十分な時間が必要となります。
- ・出席管理システムにより出席を入力してください。
- ・レポート提出は期限厳守です。期限後の提出も認めますが減点します。
- * レポートは講義内で採点基準の答案を公表し、且つ全体の評価について講評します。
- * 成果発表の結果を講義内で公表します。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

- 本講義の到達目標
1. 社会や地域のイノベーションを推進する主体としてのスタートアップ企業の重要性や、組織においてアントレプレナーシップの重要性を理解することができる。
 2. スタートアップ企業の理論や実務など理解を通じて自身がアントレプレナーになった場合に必要な知識を身につけることができる。
 3. ビジネスプランを作成することができる。
 4. ビジネスプランを作成し、説得力のあるプレゼンテーションができる。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習